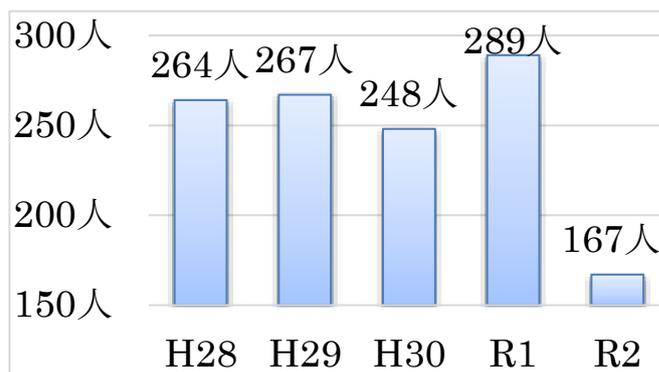


令和2年度市民参画の実績

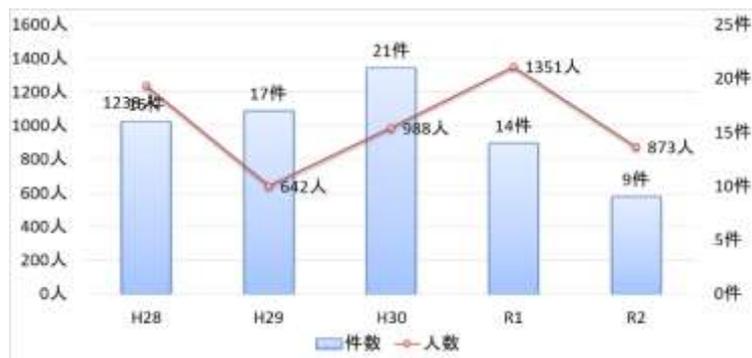
1 審議会・懇談会等の市民委員

年度	人数
平成28年度	264人
平成29年度	267人
平成30年度	248人
令和元年度	289人
令和2年度	167人



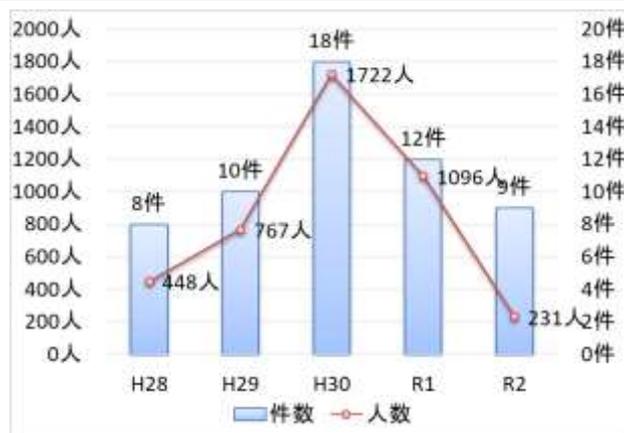
2 公聴会・市民説明会等

年度	件数	人数
平成28年度	16件	1,238人
平成29年度	17件	642人
平成30年度	21件	988人
令和元年度	14件	1,351人
令和2年度	9件	873人



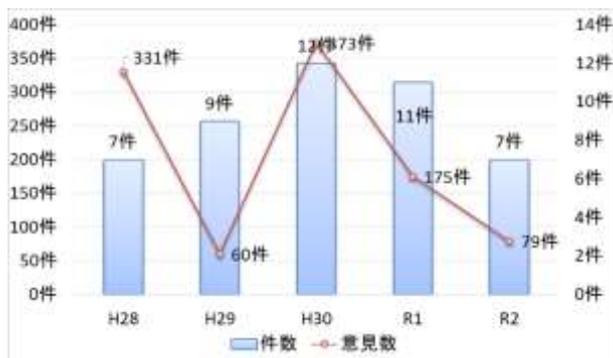
3 ワークショップ等

年度	件数	人数
平成28年度	8件	448人
平成29年度	10件	767人
平成30年度	18件	1,722人
令和元年度	12件	1,096人
令和2年度	9件	231人



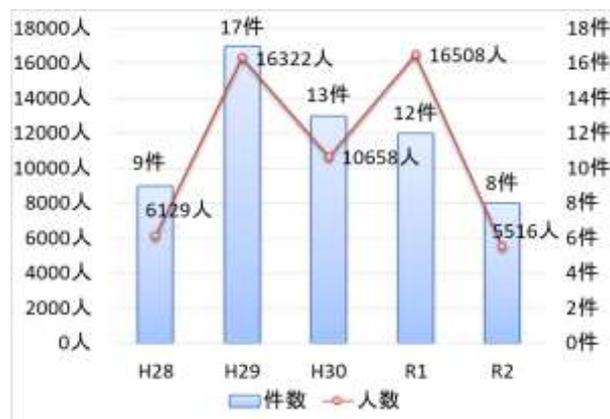
4 パブリックコメント

年度	案件数	人数	意見件数
平成28年度	7件	100人	331件
平成29年度	9件	35人	60件
平成30年度	12件	160人	373件
令和元年度	11件	74人	175件
令和2年度	7件	45人	79件



5 アンケート調査等

年度	件数	人数
平成28年度	9件	6,129人
平成29年度	17件	16,322人
平成30年度	13件	10,658人
令和元年度	12件	16,508人
令和2年度	8件	5,516人



(参考)

1. 令和2年度コロナ禍による市民参画及び市民活動に関する影響

令和2年4月 緊急事態宣言に伴い、緊急度の低い会議の原則延期とともにオンライン・書面会議実施検討の市長通達。

令和2年5月 新型コロナウイルス感染症の影響について市民活動団体を対象としたアンケート調査 (<https://www.city.tama.lg.jp/0000011509.html>) 実施。

その後の度重なる緊急事態宣言や感染症対策の行動様式に合わせて、参集以外の会議実施方法の見直しを適宜指示。

2. 対応方策

(1) 市民参画手法の代替策

- ・広い会場で消毒・換気の上、参加者数を絞った対面形式のワークショップ（エリアミーティングやわがまち学習講座など）
- ・動画配信やWEB会議での計画説明会や各種シンポジウム等（健幸まちづくりシンポジウム等）
※モデルエリアでのエリアミーティングでも動画説明とインターネット上のフォームやメール送付での意見投函を実施。

(2) 運営面のサポート

- ・職員による動画作成の試行錯誤に加え、合同会社 MichiLab がサポートした収録・配信実施
- ・多摩市全体で取り組んだオンライン文化祭の取組み
- ・また、地域活動など市民のオンライン化のサポートとして、スマホ教室や ZOOM 講習等も開催

